

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年10月27日

【評価実施概要】

事業所番号	272500760		
法人名	社会福祉法人秋葉会		
事業所名	グループホーム青い空		
所在地 (電話番号)	〒039-2402 青森県上北郡東北町大浦字境ノ沢127 (電話) 0176-56-3531		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 3日	評価確定日	平成 19年 10月 27日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 10月 23日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 7.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	500 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		800 円

(4) 利用者の概要(7月 31日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 90.3 歳	最低	80 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 工藤医院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に囲まれた和風の建物です。草花と小型犬が出迎えてくれ、玄関から明るい雰囲気です。ホーム内は囲炉裏や飾ってある絵、リビングから見える石庭等により、落ち着いた空間が演出されています。ホーム内ではスタッフの明るい対応が何れ、スタッフ全員が理念を基にした対応を心がけており、希望によりターミナルケアも考えた相談が家族とされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回、生活空間づくりの項目にて馴染みの物品などが見受けられなかったとの改善課題があったが、リビングにはおはじきやお手玉、唱歌等昔ながらの物が設置されていた。ケアサービスの項目では声かけについての改善課題があったが、法人での新人研修やホームでの内部研修、その都度の管理者からのスーパービジョンで対応していた。また地域との交流では、祭りや敬老会等の行事に出かけたり、家族介護者教室等にスタッフが参加し認知症についての理解を深める働きをしていた。ホームが田畑の中なので今後も積極的に出かけていくよう掛けている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>スタッフ全員で自己評価を実施しており、今後の改善課題がしっかりと抽出されている。課題に対する取り組み内容も出来る限り具体的に検討されている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>二ヶ月に1回以上の割合で運営推進会議を開催しており、現状や今後の予定の報告をし委員から意見を頂き、サービス向上に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>月に一回以上の頻度で家族の訪問があり、その際にスタッフが面接で最近の状態を伝えており、意見等も伺うようにしている。また、家族間での情報交換も出来るよう年に数回、家族交流会も開催している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の祭りや敬老会等の行事に出かけていく、ホームスタッフが家族介護教室等の場で認知症についての理解を求める働きかけをしているが、ホームそのものが田畑のなかに建っており近所に家がない状態であることから、地域との交流を1つの大きなテーマとして捉えている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念から更に掘り下げて職員自身が分かる言葉でグループホーム独自の取り組みとして【自分らしくあるがままのわたし】を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ全員で相談した理念は、自分達の解り易い言葉での表現となっており、日々の業務やカンファレンス等でのよい判断基準となっている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	ホームの周囲は田畑で隣近所に建物はないが、農作業に来ている方に挨拶をしている。地域の祭りや敬老会等の行事には出かけている。今後、スタッフのキャラバンメイト参加も考えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>スタッフ全員で自己評価を実施し改善点を確認されており、しっかりした対応策も検討されている。外部評価においてもホーム管理者のほかに運営者も立ちあい、ホームをより良くしていこうという姿勢が伺われる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回以上の割合で運営推進会議を開催しており、現状や今後の予定等を報告し、委員からの意見を今後の活動に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>必要に応じて、運営推進会議の委員を通じて行政機関に現状の伝達や相談をし、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>内部研修で勉強はしているが、現在、対象になる利用者はいない。相談があれば随時対応していく体制ができています。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待の防止や支援の対応については、日常の中で管理者が随時スパービジョンを実施し、見過ごされることがないように注意を払っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、契約書・重要事項説明書の文書をわかりやすく説明するよう努めている。また、ホームの基本方針や理念についても理解してもらえるよう努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>少なくとも、月に一回は各家族が面会に見えており、その際には、スタッフが面接で最近の状態を伝えている。金銭の使用状況については毎月、領収書と出納伝票を家族に送っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時には最近の状態を伝えるとともに意見も伺うようにし、家族が意見を話す機会作りをしている。また、年に数回、家族交流会を開催しており、家族同士でも意見交換の出来る機会を設けている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の馴染みやスタッフの離職を考え、配置後、職員は3年以内の移動はしないようにしている。移動は環境の変化を考えて1人ずつ行うようにしているが、離職の問題もありあまり移動はない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職場内研修の年間計画があり、月1回以上は事業所で開催している。また、法人全体での研修会や外部での研修参加にも積極的である。日常では、主に管理者が気付いた時点でスーパービジョンを実施し、本人に気付いてもらうような指導をしている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>数箇所のグループホームとネットワークをもち、職員の交換研修の実施により、相互の向上を図っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に見学してもらったり、入居後は家族に面会の協力をお願いしたりし不安の解消を図っている。また、ホームで使用するものは出来る限り本人の使いなれた物と考へ、食器から寝具まで本人の物を持ってきてもらうようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家事等の日常生の役割は入居者とスタッフとで協力して実施しており、余暇時間には入居者に「おはじき」等の昔ながらの遊びをスタッフが教わりながら楽しんだりしている。出来る限り、入居者の得意なことを探していくようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者や家族の意向について毎月のカンファレンス等で職員全員が共有し、支援できている。(外出して戻ってくると「家に着いた」と利用者が喜ばれたり、個々に合わせ家族の協力も得ている。)</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月、スタッフ全員でケアプランの見直しを行っている。</p>		<p>区切りの時期で、家族や主治医・訪問看護師も参加での検討会を持つことが望ましい。参加が困難な場合は、事前に意見を聞き、内容の記録を残しておく等、見直しの際に活用してはどうか。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプランの見直しは毎月行っている。また、状態変化があった場合はその都度見直し、現状に即した計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>「家庭」を意識し、本人や家族の希望には出来る限り柔軟な対応をとっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望する病院へ通院している。受診時の支援は主にスタッフが対応し、その都度、家族や訪問看護事業所へ報告している。また、必要に応じ家族へも同席の依頼をしている。往診のケースもある。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアに対する取り組みをしており、家族が希望する場合は、家族・医師と話し合い医師の協力の基、訪問看護を利用しながら対応していく体制をとっている。入居者の状態変化時には家族の気持ちの変化を確認しながら対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	新人職員へも指導が徹底され、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけや行動で支援されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	声のトーンも話し方もやさしく感じたが、食後に1人で立とうとした利用者に対し、その人が今やりたいことを確認することなく、もう少し待っていて欲しいと話す場面が見受けられた。		細かい事にもスタッフが気付けるよう期待したい。利用者の声や行動に対し、まずは共感し受け止めることで更なるその人らしい暮らしが出来ると思われる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者とスタッフが協力し、準備や後始末をしている。献立は入居者の好みを配慮しスタッフが作成。同法人の栄養士に栄養面での手直しをお願いし、栄養面にも配慮した食事を提供している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は決まっているが、入居者の希望に配慮し柔軟な対応をとっている。特に入浴拒否傾向の入居者には、うまくいった事例をスタッフ全員で共有し無理なく入浴できるように研究を重ねて対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>本人のできることや得意なことを探し、炊事や掃除等、日常生活動作のなかで役割を持ってもらえるようにしている。また、昔ながらの遊びの用具を準備し、入居者主導での遊びを楽しむ工夫をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候や本人からの希望により、買い物や散歩・自宅訪問等の外出支援を随時実施している。その他、地域の行事や外食等にも出かける支援を実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日頃より身体拘束をしないという考えでスタッフ全員が働いている。検討が必要な場合はその都度話し合っている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間だけの施錠で、日中は外出したい方にはスタッフが付き添って外出する支援を実施している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルが設置されている。定期的に併設施設と共同での避難訓練は実施している。今後は、ホーム独自の避難訓練の予定もある。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事等の摂取量は毎日、確認・記録している。摂取量の少ない方は主治医に相談し、エンシュアを飲用している。摂取については介助の必要な方に少し早めに食べ始めてもらい、みんなで一緒に食事を終えるようにした工夫をしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>対策マニュアルが設置されており、マニュアルに沿った対応をとっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間の掃除は行き届いており清潔な環境である。音や光は利用者あが自由に調節、又は意向に沿って調節している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日常使用する持ち運べる食器や寝具等は私物を持ってきてもらえている。家具等の大きなものがまだ充分ではないことから、今後、家族に協力を働きかけていく予定がある。</p>		

 は、重点項目。